

# 国の地方創生交付金活用事業効果検証評価シート

平成27年度に実施した地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)事業  
の効果検証、評価

平成28年11月

## 目 次

1. 新規就農・自然栽培普及事業	1
2. 広域連携によるジビエ活用事業	2
3. 女性・若者の創業支援事業	3
4. ふるさと名物開発事業	4
5. ふるさと納税推進事業	5
6. 移住ワンストップ窓口事業	6
7. 出会いから出産・子育て総合支援事業①	7
8. 出会いから出産・子育て総合支援事業②	8
9. 住まいづくり総合支援事業	9
10. のと里山羽咋自然栽培「聖地」化プロジェクト事業	10
11. ふるさと回帰推進事業	11
12. 空き家等を活用した移住者拠点整備事業	12
13. 結婚応援事業	13
14. 首都圏在住者移住・創業総合支援事業	14

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

1	事業名	新規就農・自然栽培普及事業			
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋における安定した雇用を創出する			
	基本的方向	地域資源を活用した農業の活性化			
	基本的施策	『自然栽培』普及による農業の成長産業化			
担当課名	農林水産課		交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	2, 366千円		実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標		指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①新規就農者数（人）		3人	5人	166.7%	66.7%
②自然栽培従事者数（人）		15人	19人	126.7%	26.7%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	羽咋市は、世界農業遺産である能登の里山里海の環境を活かし、環境にやさしい農業に取り組んでいる。特に自然栽培については、JAはくいと連携し重点的に取り組んでいる。今後、自然栽培の認証基準を設け、ブランド力を高める取り組みを進め、自然栽培や有機農法など環境にやさしい農業に取り組む農業者を支援する。				
具体的な取組  <b>DO</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規に自然栽培に取り組む農業者が市の空き家バンクを利用し居住する際の家賃を助成する（1/2補助、上限2万円）</li> <li>・移住希望者に空き農地紹介した生産組合への報償費（2万円/件）</li> <li>・羽咋市で自然栽培に取り組む農業者を誘致するため、イベント開催費や販路開拓などの助成費用（上限20万円）</li> <li>・自然栽培など環境に配慮した農業に取り組むため中長期に滞在する農業者へ一時居住の借上料</li> <li>・自然栽培へ取組農業者への補助（20円/㎡）</li> <li>・自然栽培に新規に取り組む若者への助成（年間15万円）</li> <li>・自然栽培に取り組む農地を確保するため、荒廃した農地の整備費用</li> </ul>				
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に非常に効果的であった				
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	有識者からの意見	①離農希望者とのマッチングで新規就農者を探るのも大切。 ②郡や七尾では就農の問い合わせがある。PR方法を工夫してほしい。 ③就農3年目までが収入が厳しい。アフターフォローが大切。 ④技術指導や農地の確保など、広範囲でのフォローを充実させることが重要。 ⑤発展的に、手厚く、見直しが必要。			
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針理由	今後も新規就農者の増加等を促進していく。			

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

2	事業名	広域連携によるジビエ活用事業		
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋における安定した雇用を創出する		
	基本的方向	有害鳥獣（イノシシ等）を活用した商品の開発・流通促進		
	基本的施策	「ジビエ」を素材とした戦略産品等の開発・販売		
担当課名	農林水産課	交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	2, 404千円	実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標	指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①確保個体数（体）	100体	182体	182.0%	82.0%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	羽咋市では、特に中山間地においてイノシシ農作物の被害が深刻であるため、イノシシを食肉としての活用を検討しているが、市内だけでは、個体確保が難しいため、県と連携し広域的連携し食肉（ジビエ）として活用する。			
具体的な取組  <b>DO</b>	広域的に害獣を集め効率的な処理のシステムを構築する。製品として流通させるべく、食肉処理業（仮設置）の許可を得るとともに、集まった個体を産業化に向けた製品の試作、成分検査を行う。			
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に非常に効果的であった			
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
	有識者からの意見	①加工品の取組が重要。 ②月150kg程度、イノシシ肉は販売でき、平成28年度は500万円の売上目標が達成できる見込みであることから、このまま事業を継続していくことでよい。		
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続		
	今後の方針理由	イノシシの個体確保へ向け、近隣及び県内地域と連携する。		

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

3	事業名	女性・若者の創業支援事業			
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋における安定した雇用を創出する			
	基本的方向	企業立地や誘致、基幹産業・起業家支援による地域活力の創造			
	基本的施策	起業・創業支援の強化			
担当課名	商工観光課		交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	2,700千円		実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標		指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①新規起業件数（件）		5件	3件	60.0%	-40.0%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	羽咋市では、市の活力を再生することを目的に市内で、起業する若者（45歳未満）に対し、起業に係る経費について補助を実施する。特に、若い女性の起業に対して重点的に支援する。				
具体的な取組  <b>DO</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業するための、店舗、工場等の取得費及び改装費又は賃借料</li> <li>・広告宣伝費、ホームページ作成する費用等</li> <li>・研修等の受講料</li> </ul>				
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に相当程度効果があった				
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	有識者からの意見	①新規起業はなかなか難しい。今ある個人事業者が新しくしようとする事にも支援することも重要。			
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針理由	起業家支援の充実を図り、増加に努める。			

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

4	事業名	ふるさと名物開発事業		
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋における安定した雇用を創出する		
	基本的方向	企業立地や誘致、基幹産業・起業家支援による地域活力の創造		
	基本的施策	起業・創業支援の強化		
担当課名	商工観光課	交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	999千円	実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標	指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①特産品開発数（個）	3個	1個	33.3%	-66.7%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	羽咋市の観光資源や特産物を全国PRするため、羽咋市が持つ観光資源や特産物をつかった地域のご当地スイーツ、お見上げ等の開発、販路開拓を総合的に支援する。			
具体的な取組  <b>DO</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発のための調査・研究費</li> <li>・原材料費・パッケージ印刷費</li> <li>・広報宣伝費、PRイベント開催費</li> <li>・研修会講師謝礼費用等</li> </ul>			
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に効果があった			
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効とは言えない		
	有識者からの意見	今後もオリジナルの商品開発に取り組める支援策を充実してほしい。		
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続		
	今後の方針理由	本市独自の特産品開発等を行う。		

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

5	事業名	ふるさと納税推進事業			
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋への新しいひとの流れをつくる			
	基本的方向	「ふるさと」回帰の支援と推進			
	基本的施策	「ふるさと応援団」等による移住支援体制の強化			
担当課名	がんばる羽咋創生推進室（H27年度は秘書室）		交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	2, 1 1 1 千円		実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標		指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①寄付金額（千円）		20,000千円	70,427千円	352.1%	252.1%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	ふるさと納税制度の寄付者への利便性を高め、ふるさと納税を拡大する。同時に、ふるさと納税制度を活用して、羽咋市の物産振興、羽咋ブランドの発信を推進する。				
具体的な取組  <b>DO</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納税の事務システムに係る委託料</li> <li>・クレジット決済かかる手数料</li> <li>・宣伝広告費</li> </ul>				
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に非常に効果的であった				
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	有識者からの意見	返礼品の中に簡単な市のコマーシャルを同封できないかなど、シティセールスの充実を図り、ふるさと納税を促進することを検討してほしい。			
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続			
	今後の方針理由	季節に応じた返礼品の紹介、納税促進のためのPR等を積極的に行う。			

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

6	事業名	移住ワンストップ窓口事業			
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋への新しいひとの流れをつくる			
	基本的方向	地方移住の推進			
	基本的施策	移住総合相談窓口による地方移住支援			
担当課名	がんばる羽咋創生推進室		交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	2,978千円		実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標		指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①ワンストップ窓口を利用した移住者数(人)		10人	2人	20.0%	-80.0%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	羽咋市では人口の流出が止まらず、平成26年度には過疎地域に指定された。そこで、羽咋市の魅力をPRし大都市圏からの移住促進を推進する。				
具体的な取組  <b>DO</b>	①移住ワンストップ窓口を設置。お試し居住などの実施、都市部での移住説明会を開催。 ②U I J ターン希望者助成事業。				
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に効果があった				
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	有識者からの意見	①移住希望者に魅力ある施策を実施することが必要。例えば、自然栽培ならそれで生活できるような支援が必要であると思う。			
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業内容の見直し(改善)			
	今後の方針理由	ワンストップ窓口業務のスムーズ化と他課、関係機関との連携・協力体制を促進する。			



## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

7	事業名	出会いから出産・子育て総合支援事業①		
総合戦略における位置づけ	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	基本的方向	①出会いから結婚までの総合的な支援の充実 ②子ども・子育て支援の継続・充実		
	基本的施策	①結婚を希望する若者への支援 ②出産・子育てしやすい環境の整備		
担当課名	健康福祉課	交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	1, 451千円	実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標	指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①セミナー参加者数（人）	20人	43人	215.0%	115.0%
②婚活イベント参加者数（人）	20人	85人	425.0%	325.0%
③両親学級参加者数（人）	45人	44人	97.8%	2.2%
④妊婦歯科検診受診者数（人）	60人	40人	66.7%	33.3%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	羽中市では人口の流出が止まらず、平成26年度には過疎地域に指定された。少子化に歯止めをかけるため、出会い・出産・子育てを支援する。			
具体的な取組  <b>DO</b>	①縁結び支援事業 自分磨きセミナーを開催するとともに、出会いの場を提供する。 ②母子健康支援事業 妊娠中の健康維持、産前、産後の不安解消や家族ぐるみで子育てに取り組む土壌を醸成していくことで、出産世帯の増加を目指す。両親学級、妊婦歯科検診。 ③H27年4月から第1子が18歳以下である多子世帯に対し、第2子半額、第3子以降無料とする。			
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に効果があった			
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
	有識者からの意見	①出会いを創出するには「婚活」という名称を出さないでイベントを開催したほうがよい。「婚活」というと女性は参加するときに身構えてしまう。 ②市の補助金制度を活用し、気軽に集まれる場を開催したらよいと思う。		
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続		
	今後の方針理由	若者が結婚に魅力を感じるセミナー、イベントを開催する。また、安心して健診等を受けれる体制を構築する。 様々な角度における出生数の増加に寄与する事業の展開に向け、事業内容の再構築を図る。		

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

8	事業名	出会いから出産・子育て総合支援事業②		
総合戦略における位置づけ	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	基本的方向	子ども・子育て支援の継続・充実		
	基本的施策	出産・子育ての経済的負担の軽減		
担当課名	健康福祉課	交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	5, 772千円	実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標	指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①出生数(人)	155人	105人	67.7%	32.3%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	羽咋市では人口の流出が止まらず、平成26年度には過疎地域に指定された。少子化に歯止めをかけるため、出会い・出産・子育てを支援する。			
具体的な取組  <b>DO</b>	保育料をH27年4月から第1子が18歳以下である多子世帯に対し、第2子半額、第3子以降無料とする。			
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に効果があった			
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
	有識者からの意見	①減額競争には限度がある(財政の豊かな自治体有利)ので、ソフト面で羽咋ならではの工夫が必要。 ②実施内容を広く広報すべき。		
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業内容の見直し(改善)		
	今後の方針理由	様々な角度における出生数の増加に寄与する事業の展開に向け、事業内容の再構築を図る。		

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

9	事業名	住まいづくり総合支援事業		
総合戦略における位置づけ	基本目標	時代に合った持続可能な地域をつくり、地域と地域が連携する		
	基本的方向	住まいの整備・再生、安価な宅地供給の促進		
	基本的施策	住環境の整備推進		
担当課名	地域整備課	交付金の種類	基礎交付	
事業実績額	10,381千円	実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標	指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
① 駅東宅地住宅着工件数（件）	3件	4件	133.3%	33.3%
② 三世代同居住宅支援利用件数（件）	20件	1件	5.0%	-95.0%
③ 両親学級参加者数（件）	66件	48件	72.7%	-27.3%
事業の概要・目的 <b>PLAN</b>	羽咋市では人口の流出が止まらず、平成26年度には過疎地域に指定された。定住人口の確保のため、羽咋市において住宅を取得する者に対する助成を行う。 また、三世代同居を促すための支援策を行い、市内の転入を促す。 また、町会と連携し、空き家の調査および斡旋を行い、空き家の活用を図る			
具体的な取組 <b>DO</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅東宅地にかかる住宅取得支援</li> <li>・ 太陽光発電助成</li> <li>・ 三世代同居住宅取得支援</li> <li>・ 町会空き家登録促進事業費</li> </ul>			
本事業における事業効果 <b>Check</b>	地方創生に効果があった			
外部有識者からの評価 <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
	有識者からの意見	目標値を上回っており、今後もニーズを踏まえて対応していく必要がある。		
事業の今後について <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続		
	今後の方針理由	三世代同居・近居事業の充実、空き家の利活用に向けた町会連携を促進する。		

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

10	事業名	のと里山羽咋自然栽培「聖地」化プロジェクト事業		
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋における安定した雇用を創出する		
	基本的方向	地域資源を活用した農業の活性化		
	基本的施策	『自然栽培』普及による農業の成長産業化		
担当課名	農林水産課	交付金の種類	タイプ I	
事業実績額	49,000千円	実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標	指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
新規就農者数	10人	5人	50.0%	-50.0%
自然栽培部会員数	20人	19人	95.0%	-0.05%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●羽咋市は、「自然・環境にやさしい農業」である農業及び肥料を一切使わない「自然栽培」農業に取り組んでいる。この取り組みは、羽咋市とJAはくいが一体となって実践しており、生産者支援及び普及活動を促進している。</li> <li>●この自然栽培従事者の取り組みを組織化し、地域産業として自立させ、自然栽培農業従事者が経済的かつ生活面で自立できるシステムを構築し、農業従事者が一定程度の収益が見込める規模の農地を遊休農地及び耕作放棄地を活用・整備することにより確保する事業を一括して行うとともに、他の地域でも利用可能なマスタープランを作成する。併せて、自然栽培農業の普及及びその情報を全国に向けて発信する。</li> <li>●また、安全・安心な農産物・加工品を全国及び全世界に販売・出荷するとともに、農産物のブランド化及び6次産業化を推進し、過疎地域または限界集落地区における雇用の創出・移住定住システムを構築し、過疎地域における自立と地域経済の活性化を促進する。</li> </ul>			
具体的な取組  <b>DO</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自然栽培農産物集出荷加工施設の整備、新規就農者に対するトラクター等の農機具の貸与</li> <li>②首都圏におけるPR活動の実施</li> <li>③自然栽培に関するイベントの実施</li> <li>④自然栽培農産物を学校給食材として使用する場合の差額補助</li> <li>⑤首都圏アンテナショップ開設</li> </ul>			
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に効果があった			
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
	有識者からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>①季刊誌でもよいが出向いてPRすべき。</li> <li>②販売（出口戦略）に力を入れていかないといけない。特に野菜。</li> <li>③輸出産業化に向けての具体的な取組みが必要。</li> </ul>		
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続		
	今後の方針理由	今後も新規就農者の増加等を促進するとともに、就農者が安定した生活基盤を形成できる事業を展開する。		

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

11	事業名	ふるさと回帰推進事業			
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋への新しいひとの流れをつくる			
	基本的方向	「ふるさと」回帰の支援と推進			
	基本的施策	「ふるさと応援団」等による移住支援体制の強化			
担当課名	がんばる羽咋創生推進室		交付金の種類	タイプⅡ	
事業実績額	1, 380千円		実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標		指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①三大都市圏からのツアー参加者数（人）		50人	23人	46.0%	-54.0%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	首都圏を含む三大都市圏在住の本市出身者が当市の魅力や住みやすさを再認識し、本人または知人等のU I J ターンを推進するための支援を行う。				
具体的な取組  <b>DO</b>	首都圏等在住者によるふるさと回帰ツアーの実施。関東からのツアー1回。関西からのツアー1回開催。				
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に効果があった				
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	有識者からの意見	①関東以外の羽咋会についても情報発信のお手伝いをし、羽咋市のPR体制を構築する必要がある。			
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業内容の見直し（改善）			
	今後の方針理由	都市圏で結成されたふるさと応援団が主体となった応援ツアーを開催する。			

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

12	事業名	空き家等を活用した移住者拠点整備事業			
総合戦略における位置づけ	基本目標	時代に合った持続可能な地域をつくり、地域と地域が連携する			
	基本的方向	住まいの整備・再生、安価な宅地供給の推進			
	基本的施策	空き家・空き地の利活用と既存住宅の性能維持の支援			
担当課名	がんばる羽咋創生推進室		交付金の種類	タイプⅡ	
事業実績額	5,800千円		実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標		指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①移住体験参加者数(人)		10人	0人	0.0%	-100.0%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	移住希望者のための宿泊体験施設等の用途に供するため、モデル地域にある空き家住宅および空き建築物を賃貸及び補修等を行う。また、移住を支援する事務所機能も併用するための整備も行う。また、移住希望者へ当市までの旅費の一部を助成する。				
具体的な取組  <b>DO</b>	移住促進地域(モデル地区)を選定。モデル地区にある空き家等を活用し、移住希望者が当施設で宿泊体験を行う。また、移住希望者へ当市までの旅費の一部を助成する。				
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に効果があった				
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった			
	有識者からの意見	①空き家バンク制度への登録が促進されるよう、さらにPRが必要である。 ②不動産業者との連携が必要である。			
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業内容の見直し(改善)			
	今後の方針理由	移住体験しやすい制度設計とPR活動の充実を図る。			

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

13	事業名	結婚応援事業		
総合戦略における位置づけ	基本目標	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		
	基本的方向	出会いから結婚までの総合的な支援の充実		
	基本的施策	結婚を希望する若者への支援		
担当課名	健康福祉課	交付金の種類	タイプⅡ	
事業実績額	2,021千円	実施年度	平成27年度	
重要業績評価指標	指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①模擬結婚式参加者数（人）	20人	56人	280.0%	180.0%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	婚活イベント等に参加した独身者男女を対象に模擬結婚式等を行うことにより、婚姻率の向上を図る。			
具体的な取組  <b>DO</b>	過去の自分磨きセミナーや出会いの場参加者から、模擬結婚式等の参加者を募り、結婚への意識を醸成し、婚姻率の向上を図る。			
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に非常に効果的であった			
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
	有識者からの意見	市の補助金制度を活用し、気軽に集まれる場を開催したらよいと思う。		
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	事業の継続		
	今後の方針理由	婚活セミナーの内容拡充と若者のニーズにあったイベントの開催等を行う。		

## 国の地方創生交付金活用事業効果検証シート

14	事業名	首都圏在住者移住・創業総合支援事業		
総合戦略における位置づけ	基本目標	羽咋における安定した雇用を創出する		
	基本的方向	企業立地や誘致、基幹産業・起業家支援による地域活力の創造		
	基本的施策	起業・創業支援の強化		
担当課名	がんばる羽咋創生推進室		交付金の種類	タイプⅡ
事業実績額	800千円		実施年度	平成27年度
重要業績評価指標	指標値	実績値	指標に対する達成率	指標値に対する増減率
①移住創業件数（件）	2件	1件	50.0%	-50.0%
事業の概要・目的  <b>PLAN</b>	首都圏在住者が当市で移住・創業する際に必要となる費用を助成し総合的に支援する。			
具体的な取組  <b>DO</b>	首都圏在住者が当市で移住・創業する際に必要となる費用（引っ越し費用、創業に対する設備投資費、家賃等）を助成し総合的に支援する。さらに、当市が地方創生の核としている掲げる施策（自然栽培、ジビエ、道の駅への製品・生産物出荷等）と合致した場合、上乘せ助成を行う。			
本事業における事業効果  <b>Check</b>	地方創生に効果があった			
外部有識者からの評価  <b>Check</b>	事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった		
	有識者からの意見	①新規起業はなかなか難しい。今ある個人事業者が新しくしようとする事にも支援することも重要。		
事業の今後について  <b>Action</b>	今後の方針	追加等更に発展させる		
	今後の方針理由	既存事業に当事業を組み合わせ、より具体的な制度として実施する。		